

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・後期・A群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン工学科	
化学Ⅱ (ChemistryⅡ)	担当教員	三原めぐみ (Mihara, Megumi)	
	教員室	一般教育科棟3階 (Tel 42-9057)	
	E-Mail	mihara@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回		
[本科目の目標] 化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則に対する理解を深め、科学的な探究心を育成する。			
[本科目の位置付け] 中学理科で学習する基本的な知識が必要である。また、内容によっては専門教科における基礎知識も学習する。			
[学習上の留意点] 予習・復習をすること。また、「ダイナミックワイド図説化学」は必ず持参すること。配布した資料および掲示した資料は必ず目を通すこと。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1 原子量・分子量と物質質量	10	原子の相対質量, 原子量・分子量・式量, 物質質量とアボガドロ数, 溶液の濃度の求め方を理解し、計算できる	p. 30-p. 35の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2-1 化学変化の量的関係	4	化学反応式を作ることができる	p. 36-p. 37の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
—後期中間試験—		授業項目1~2-1について達成度を確認する	
2-2 化学変化の量的関係	6	化学反応の表す量的関係を理解し、計算できる	p. 37-p. 44の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
3 反応熱と熱化学方程式	4	反応熱, 発熱反応と吸熱反応, 反応熱の種類を理解し、熱化学方程式を作ることができる	p. 46-p. 48の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
4 ヘスの法則	4	熱量の求め方, ヘスの法則を理解し、計算・応用できる	p. 49-p. 55の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
—後期期末試験—		授業項目2-2~4について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解できる	

